

マザアスニュース 第23号

ひだまり

2002年1月1日(年4回発行)

発行/社会福祉法人マザアス
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7
Tel 0424-77-7261
Fax 0424-77-7500

発行責任者/高原 敏夫
編集責任者/萱野 彰一郎



手作りの獅子で新年を祝う

もうひとつのサービス

施設長 高原 敏夫

あけましておめでとうございます。

地域の方々のご支援と、利用者のご家族の協力によって、今日まで大きな支障もなく歩み続けて来れたことに、心より感謝申し上げます。

社会福祉法人マザアスは、過去七年間に少しづつ事業を拡張してまいりましたが、今年には東部地区にもグループホームを開設できる運びになりました。このグループホームの基本は「痴呆性高齢者が、自らの家で普通の生活をおくることができるような環境づくり」にあります。入居してくる高齢者は「介護を受ける者」ではなく「生活する主体」として、また、スタッフは「介護の提供者」ではなく、

「生活のパートナー」として働き、「グループホームひかわだい」が、入居者の「家」になるようにしたいと思っております。

定員は9名、「訪問看護ステーション氷川台」と同居になる予定です。東久留米市内では滝山と白山に次いで三番目のグループホームになります。互いに連携して、高齢者が地域と結びついた生活を送れるような環境を確保していくつもりです。一人でも多くの方が「井戸端会議」に、「世間話」に、或るいは「お茶飲み」に立寄って、気軽に出入りできる、明るい「家」にさせていただきたいと思っております。「よろしく。」

食事介助

登録12名



ひとさじずつ、ゆっくりと。
声かけしながら楽しいお食事を！



つぎは、どのおかずにしましょうか



声の欄



いつも明るくさわやかな、シルバー人材センターの方々に、仕事について声をいただきました。皆さん若い!! シルバーって何才??

食事介助にうかがって

ご縁あって、食事介助という事で何うようになっ一ヶ月、大勢の皆様にお逢いし、わずか夕食時一時間半ばかりですが、おつき合いし色々なことを感じさせていただきます。

さあ、心のこもったお食事が配膳され、向き合って「今晚は。夕食です、いただきましょう」と挨拶し、一〇一〇タイミングよく、おいしく召し上っていただくよう心し、とても緊張します。ゆっくりおかつの説明をしながら、調子はいかがか、話しかけながらちゃんと嚙下されたか見とどけつつ、三〜四品を次は葉物次はとろみのお汁次はごはんとスプーンでさしあげ、「お



運転業務

登録6名

「おはよう!」と、朝から軽快な声で挨拶を掛けてくれ、一日を気持ち良くスタートさせてくれるのは、デイサービスの運転手さん。そんな明るく元気な運転手さんたちをご紹介します。

デイサービスにとって送迎車は必要不可欠なもの。その送迎車を運転する運転手さんの存在もまた大きい、と言っても過言ではないでしょう。デイサービス利用のお客様を、安全かつ快感を与えない運転で毎日無事に送迎してくれる運転手さんには、いろいろと気配りがあることと思います。車をいつでもきれいに朝の掃除から始まり、今の季節柄利用者さんに寒い思いをさせまいと、早くからエンジンを掛け車中を温めてくれる。そしてまた、狭い路上では譲り合いの精神を忘れず他車を先に通し、大きな車体をゆっくり優雅に走らせる運転手さんには感心させられる思いです。

デイサービスの一日が成り立っているのも、このような気配りのできる運転手さんたちが、

味はいかがですか」「とてもおいしい」と、また「ありがとう」とおっしゃられ、外から来ている人間だとわかって気を遣っていらっしゃる様子を恐縮します。明るい施設の一室に集まる大勢で食事を頂戴する雰囲気は、とても楽しく温かく、よりおいしいものでしょう。

至らない私ですが、精一杯お一人お一人の心に近づき、温かい気遣いで丁寧に接したく、又仲良くなり謙虚なお姿から学ばせていただき、自分の先行き身につけたいものです。職員さんの愛、周りの方々のかわりに支えられ人生の後事一日一日を大切に生きられる姿に、私もおよばずながら一助したく努力しますので、よろしくお願い致します。

今年もおいしいものを沢山召し上がれ!!
食事介助担当 鈴木 美代

私の仕事について

シルバー人材センターより社会福祉法人マザアスの運転業務を担当して早一年十ヶ月となりました。メンバーの入れ替えが何回かありまし



シルバー 人材センター → マザアス

毎日安全運転でお客様を送迎してくれるお陰です。明日もまた、軽快な挨拶と共にマザアス送迎車を走らせてくれることでしょう…
マザアス氷川台 向田 千衣美



明るく、大きな声で 安全運転を!!

だが、現在六名のメンバーにて各自が週二回二台の車で、デイサービスの運転業務を交代で安全運転をモットーに送迎させて頂いています。二十一年近く東久留米市内に住みながら道路事情のみこめず苦勞しました。当初はケアワーカーの皆様にご協力を頂き、道路案内、車イスの扱い方も教えて頂き、大変お世話になりました。お蔭様にて今日では何処の誰々さんと言われると、それなりにわかるようになりました。

皆様が元気にて私達の運転する車に安心して乗車して頂けるのが一番の願いです。今回新車も入りメンバー交代による運転業務に支障をきたさない様努力し、安全運転に毎日心がける気持でいっぱいです。

運転業務担当 畷田 秀夫

素直さとやる気

マザアス東久留米の清掃を担当させていただいて半年あまりになります。私達グループ六名が二人一組で一日五時間、週五日の勤務です。最初はマニュアル片手に職員や利用者の方々

清掃業務 二部門

登録7名



隅々まで、ついでに



トイレはいつも清潔・安全に

の邪魔にならないようにとキョロキョロ、オタオタしていたと思います。担当の小森さんが唯一の頼りでしたので、毎日顔を探し後ろ姿を求め声を追いかけ、そして今日はお休みですと聞くとても寂しい思いをしておりました。でも職員の方々の明るい態度と挨拶に力づけられ、私達もそのソフトなカラーを身につけようと話し合っています。利用者の方々の笑顔と、少しの会話も楽しみです。

“掃除とは住む人の健康を守る為に行うものです”講師から最初に教えられ、掃除の大切さを遅蒔きながら納得したものでした。小森さんのアドバイスを頼りに、清潔さと透明感を手に入れるべく一歩一歩前進していきたいと考えております。人間支え合い、エネルギーを受けながらまた与えながら、寛容さを忘れずに生活していくものと、この半年あまりの間におぼろげに、そして今ははっきりと自覚しました。

今年も素直さとやる気をモットーに、グループ6名助け合いながら元気に勤務させていただきたいと考えております。

清掃業務担当 谷口 せつ子

結核について

結核の病巣は硬い塊（核）をつくることからそう名づけられたようです。口から飛び出す細かい飛沫の中に含まれた結核菌は、水分が蒸発しても飛沫核となって生きて、空気中をただよい人に吸い込まれ感染（空気感染）します。だが、肺の奥まで届かないと成立しないため、うつりにくいとも言われます。

今、なぜ結核なのか？ それは青春期に感染した結核菌の一部が生き残り、生活習慣病などで免疫力低下のため再活動（内因性再燃）したり、高齢になり免疫低下で新たに感染（外来性再感染）したりするようです。症状が様々なため医療機関を受診するのが遅れたり、診断に時間がかかっている間に他への感染が広まったり、症状が悪化し死亡に至るというケースが多くなってきています。

まず予防には、日頃の健康管理に充分注意し免疫力を高め、疑わしい症状（長びく咳、痰が出る、微熱が続く）などがあれば早期に医療機関を受診し検査をすることが大切です。または、BCGによる予防接種で免疫をつけたり、感染した疑いのある場合は抗結核薬を6ヶ月服用する治療方法もあります。握手や飲食物の食器などを介しての感染はありません。きちんと治療すれば治ります。過度に心配したりせず、正しく理解し誤解や偏見をなくし、予防と対策に心がけましょう。

バザー収支報告

◆収入	模擬店	70,990円
	フリーマーケット	20,600円
	バザー	154,085円
	計	245,675円

◆支出 46,212円

◆純利益 199,463円

◆純利益より、東久留米社会福祉協議会及びアドラ国際援助機構へ2万円ずつ寄付させていただきました。
地域の皆様のご協力に、心より感謝いたします。

獅子頭を作って(表紙の写真)

門々に門松が立ち、羽子板やこま回しの風景を見たのは、小学校四年生の頃に始まった太平洋戦争以前だった。獅子舞いが、子供達を追いかけて頭を噛むのは今年の健康を祈ってだったろうが、皆怖がってキャーキャー逃げたり、親にしがみついたものだったが、果してその顔をよく見ていただろうか。

大ざっぱな印象はあっても、職員の吉田さんが、神社から借りて来て下さった金ピカのオシシ。へえーこんな大げさな表情ときれいな色だったとは初めて知った。

これを作ることになる。勿論、私の手に負えるものではなく、構造の針金も金網も紙粘土もほとんど介護課長の小森さんの調達と進行で、車椅子でのろまな小手先だけをちょっと動かして手伝ったのが舞う人の足を引っぱらなきゃいいが、と常に心配。でも作業していた夕方の一時間弱、本当に楽しませてもらった。物を創るのは、とても嬉しい。有難うございました。
志賀 妙子



製作風景 左:志賀さん、右:ボランティアさん

編集後記

新年号ということで、「ひだまり」も目標を立ててみました。

- ①読んでおもしろいものをつくる
- ②発行の日程を守る
- ③計画を立ててから作業にはいる
- ④少なくとも年4回は編集委員が集まる
- ⑤飲みすぎに気をつける

われわれにとっては実現困難な目標ばかりですが、少しでもこれに近づけるよう努力いたします。

萱野 彰一郎

特別養護老人ホーム マザアス東久留米 Tel 77-7261 Fax 77-7500	デイサービスセンター マザアス氷川台 Tel 77-7263 Fax 77-7500	ヘルパーステーション マザアス氷川台 Tel 77-7260 Fax 77-7500
訪問看護ステーション マザアス氷川台 Tel/Fax 70-1740	東久留米市東部 在宅介護支援センター Tel/Fax 73-9996	グループホーム たきやま Tel/Fax 77-1525
		老人デイサービスセンター マザアス大門 Tel 70-0065 Fax 70-8024